

松原苑だより

第123号

編集・発行
指定介護老人福祉施設
松 原 苑

東京都西多摩郡檜原村 5650-8
TEL:042-598-0333
FAX:042-598-0334



ご挨拶



介護課長
小南 敦子

日頃より松原苑ご利用者をはじめ、ご家族様、地域の皆様、関係機関の皆様等、多くの方々に温かいご支援とご協力をいただき心からのお礼と感謝を申し上げます。

今年度四月より、介護報酬改定に伴い、口腔衛生管理の強化や認知症対応、協力医療機関連携、感染症に対するBCPの策定や感染症蔓延防止のための研修や訓練の実施が求められ、既に事業計画に盛り込んでいたものも一部ありますが、現在も制度改正に対応した取り組みに向け、検討を進めております。

ご家族様においては、基本報酬や居住費の改定、物価高騰など負担が多くなっている昨今ではございますが、引き続

きご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さてこの夏は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが五類感染症となり二度目の夏を迎え、七月一日より、ご家族との飲食を可能とし、面会時間の制限を解除致しました。解除以降、ご家族と一緒に嬉しそうに外出する場面や、施設内で、笑顔で共に食事を楽しまれる場面もありました。

大切な人と過ごすことは当たり前の日常であると安堵するとともに、貴重な時間がもたらす喜びや、心の安定である事を実感しております。

その中で今年度、松原苑で一番大きな行事となる『納涼夏祭り』の準備を例年より早く始めて参りましたが、コロナ陽性者が発生し、検討を重ねた結果、今回は中止の決断となりました。ご家族、地域の皆様、関係機関の皆様には、ご心配、ご迷惑をお掛けし、大変申し訳ございませんでした。非常に残念な結果となりましたが、来年の楽しみとして、改め

て皆様のお越しを、職員一同お待ちしております。

また、現在コロナ陽性者が発生した場合、ご家族との面会はお断りしておりますが、今後については、ご希望されるご家族は面会いただくことを決定しております。

前述した通りではございますが、ご家族と過ごす時間は、心身の安定をもたらす一番の薬だと思えますので、無理のない範囲でご面会いただけると幸いに存じます。引き続き感染症については、ご心配、ご迷惑をお掛けすることと思いますが、ご理解の程、宜しくお願い申し上げます。



ツツジ植替え

今まで植わっていたツツジを施設裏に移動し療養させ、増し土・追肥を施し、新しいツツジを植えました。もちろんその後の経過は良好で、新芽を出しながらすくすくと育っています。

今年は植え込み時期の関係で花を見ることはできません



でしたが、来年以降はきっと綺麗なピンク色の花が咲くと思います。とても楽しみです。通り掛かった際は是非、ご覧になってください。

植木一本でも、植えた人や手入れをする人、眺めて楽しむ人など様々な思いが詰まっていることを感じながら、日々の水やりに勤しんでいます。

(広報委員 H・M)



今年も自衛消防訓練技術審査会に参加させていただきましました。なんとこの審査会、今年で四十二回という伝統ある行事です。

新型コロナウイルスや介護業界における人手不足の影響で、残念ながら参加事業所の数は少ないのが現状ですが、それでも一生懸命訓練し、審査会に臨まれた皆様、大変お疲れさまでございました。

祝

自衛消防訓練技術審査会

準優勝



松原苑は生活支援係主任の島根祥太さん、総務係の岡部揚仁さんが出場し、見事準優勝という成績を収めました。

こうした経験は、個人の技術や知識だけではなく、事業所レベルでの防災意識向上も目的としています。全職員が防災に関心を持ち、災害に強い施設を作り上げていきたいと思っています。

(防災管理者H・M)



新型コロナウイルスが落ち着き感染対策も軽減されてきました。そこで以前行われていた集団訓練を再開させ、週二回行う事になりました。今回は、その内容を紹介したいと思います。

グループ体操↓個々の活動性を引き出すよう声掛けをしながら、ご利用者個々の身体機能特性に合わせ、可能な範囲で体操を実施します。発声練習や嚥下体操も一部加え、日常生活動作上で必要な、関節可動域・筋力などの身体

リハビリ集団体操



機能を維持・向上を目的としています。

風船を用いた応用運動↓風船を隣の人に手渡ししたり、キャッチボールをするなど、能動性・自発性を促すとともに、自然な身体の動きを引き出します。参加されているご利用者同士の交流も図れるように実施していきます。

皆さん笑顔でボールを渡したり投げたりして、とても楽しそうにされています。今後も継続していき、ご利用者の生活に活かしていければと思います。

(広報委員T・S)

デザート バイキング

七月十七日、樫・桜ユニット合同で「スイーツバイキング」を行いました。蒸し暑い日々が続いていたので、「ご利用者が普段召し上がれないものかつ、冷たくておいしいものを提供する」というコンセプトのもとに企画しました。色とりどりのスイーツが並べられた長テーブルの横を、ご利用者が一名ずつ通られ、お好みのスイーツを小皿に乗せていました。中にバナラアイスが入ったシューアイス、ゼリーのような食感の葛まんじゅう、冷たくもフワツとした柔



これでも
いただきます!



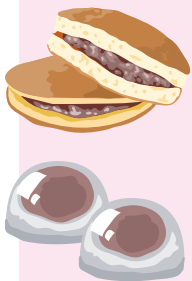
おいしい!

らかさのあるロールケーキなどに、「ひんやりしてておいしい」「最近暑かったから良かったよ」と喜ばれていました。

急遽日程変更というアクシ

デントはありましたが、皆様のフォローにより開催することができました。ありがとうございました。

(広報委員T・O)



配食サービスお弁当

松原苑の厨房(栄養調理係)では、配食(お弁当)サービスも行っています。提供先はやすらぎの里のデイサービスにいらしている方や、お家で過ごされている方です。

食材は購入したものだけではなく、季節によつて松原苑の畑で収穫されたものを使用し、美味しく召し上がっていただくよう盛り付けも工夫しています。

今後も衛生管理はもとより、サービスをご利用の方が笑顔になるようなお弁当を作っていきます。

(広報委員H・M)





盆供養



松原苑では七月十三日から十七日の期間、盆供養を行いました。

盆供養は故人やご先祖様が浄土から現世に戻ってくる期間とされており、松原苑でも慣例に倣い、迎え火から始まり、追善供養を行い、送り火に終わります。

今年の盆供養は迎え火に六名、法要・茶話会に二十名、送り火に七名のご利用者に参加いただきました。法要では、玉傳寺住職に



読経を上げていただきました。参加されたご利用者の経に耳を傾け合掌されている姿が、とても印象的で、涙を流されている方もいらっしゃいました。法要終了後の茶話会では、ご利用者同士お話をしながら、お饅頭とお茶を召し上がり、思い思いに楽しまれておりました。

今後もご利用者に季節を感じていただける年中行事を大切にして参ります。

(広報委員 T・D)



スイカ割り



夏の風物詩を求めて八月十一日、松桐ユニットのご利用者でスイカ割りを行いました。以前はベランダで行ったこともありましたが、今年の夏は危険な暑さが続いているため、エアコンの効いたユニットのリビングで行いました。

車椅子の方でも出来るよう、ビーチボールのスイカに鈴を付け、アイマスクで目隠しをしていただき、マスケットバットを棒の代わりにして体験していただきました。

こっそりアイマスクをずらして、目標を見定めて叩く方や、テーブルを叩いてしまった方、失敗された方、成功した方、

皆様それぞれ楽しまれました。

そして、体験していただいた方から順に、事前に切り分け、冷蔵庫で冷やしておいた冷たいスイカを、お茶やおせんべいと一緒に召し上がっていただきました。皆さん美味しかったです。

材料を集める際に、様々なものが値上がりしており、スイカの値段に驚きを隠すことができませんでした。

この暑さはまだまだ続きそうですが、皆さんご自愛下さりますよう、よろしく願い申し上げます。

(広報委員 S・O)

りっぱな
スイカだね!



あ! ずれた!



新入職員紹介



佐藤 友子

★生まれ月：十二月

★趣味：旅行

★好きな芸能人：鈴木 亮平

★ひとこと：これからも日々勉強しながら頑張りますので、よろしくお願いいたします。

寄付寄贈

◎八田野 光司 様

◎大谷 禮二郎 様

◎塩畑 早苗 様

◎青山 幸子 様

◎中野 順子 様

◎田中 寿昭 様

◎山本 茂生 様

◎山王商事有限公司 様

◎みどり調剤薬局 有限会社 様

ありがとうございました。



編集後記



今年の梅雨明けの発表は早かったですね。やっと夏がきたと思ったら、毎日のようにゲリラ豪雨があり、最近では台風も発生し始めて、ジメジメした空気からなかなか開放されずに困っております。洗濯物が乾きにくいのが一番厄介ですね。乾燥に時間がかかるのでクーラーやサーキュレーターなどあらゆるテクノロジーを駆使して対策しています。

コロナウイルスが五類に引き下げられてからしばらく経ちましたが、ニュースにも取り上げられるほど第

十一波が猛威を振るい施設の夏祭りが中止になりました。この時期は熱中症などもあり、コロナと気づきにくいこともあるので、手洗い・うがい・マスクを忘れずに皆様と一緒に乗り切りたいと思います。

コロナに罹らないか戦々恐々としながら電車通勤する広報委員より

